

2019年4月から

大曲工業高校はコミュニティ・スクールがスタートしました

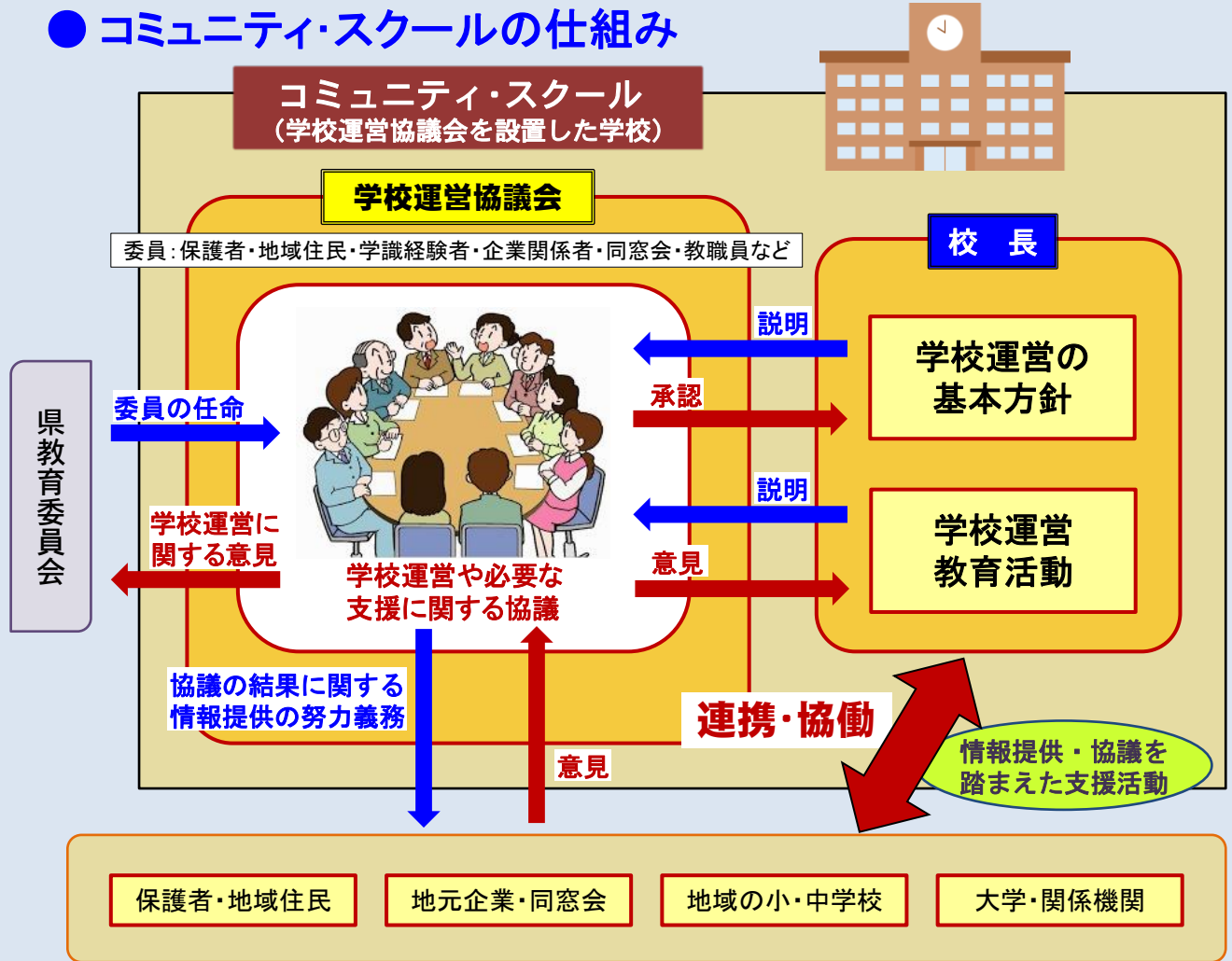
コミュニティ・スクール（CS）とは、学校と保護者や地域の方々が学校運営に参画し、地域と連携した取組が組織的・継続的に行われ、地域に開かれた **地域とともにある学校づくりを目的** とする **学校運営協議会を設置した学校** のことです。

本校のCSテーマ

『地域の教育力を活用し、次代を担う人材を育成する』
～ 共育・共創による地域連携のさらなる充実・発展 ～

のもと取り組んでいきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● コミュニティ・スクールの仕組み



● 学校運営協議会の主な役割

- ① 校長が作成する学校運営の**基本方針の承認**をすること。(必須)
- ② **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができること。
- ③ **教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができること。

※学校運営協議会の導入は教育委員会が指定します。

※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

※学校運営協議会の委員構成や人数・任期、所掌事項などの運営に関する事項については、地域や学校の実態等に応じて教育委員会規則において定めることとなっています。

● コミュニティ・スクール導入状況（平成30年4月1日現在）

- ・CS導入校は全国で5,432校になりました。しかし、そのほとんどが公立の小中学校です。
秋田県の導入校は、60校（昨年45校）と伸びましたが、高校は1校のみです。
- ・高校導入校は全国で64校から383校になり依然として小中学校に比べて高校での導入はあまり進んでいないのが現状です。
（秋田県は昨年度スタートの矢島高校と今年度スタートの大曲工業高校と六郷高校で3校になる）

● コミュニティ・スクール取組例（一部のみ掲載）

- ・地域と・・・地域清掃活動、合同防災訓練、花火関連・地域産業祭参加、除雪ボランティア
- ・保護者と・・・合同校門指導、交通安全指導、生活指導、強歩大会・学校祭支援
- ・小中学校・大学と・・・ものづくり教室、体験授業、出前授業、WRO講習会、講義(大学教員)
- ・地元企業・同窓会と・・・インターンシップ、技術・技能指導、先輩講話、模擬面接、進路研究会

● コミュニティ・スクールの流れ

2019年度 CS導入

- ・学校運営協議会委員の任命
- ・学校運営協議会の開催（年3回）
- ・家庭、地域への支援活動協力の呼びかけ
- ・CS推進関連研修の参加
- ・作業部会（部会）の開催
- ・組織、運営体制を充実させるための見直し etc.

運営の充実
（導入1年目から2年目へ）

※保護者、地域住民、教職員等により、熟慮し、議論を重ねる「熟議」の実施

● 今年度実施計画（2019年度）

①推進委員会開催と主な協議事項

- ・第1回 6月19日（学校運営協議会の役割、各部会開催、今年度事業計画 他）
- ・第2回 9月25日（CS関連講演会参加、CS連絡協議会報告、各部会開催 他）
- ・第3回 2月13日（今年度事業報告、次年度事業計画 他）

②講演会・研修会参加（校外）

- ・秋田県コミュニティ・スクール連絡協議会（年1回）
- ・学校・家庭・地域連携協議会兼秋田県コミュニティ・スクール連絡協議会研修会への参加
- ・文部科学省主催のコミュニティ・スクールフォーラムへの参加等

③CS周知・啓発活動

- ・4月上旬 保護者・地域住民等への学校運営協議会周知用リーフレット作成
- ・11月19日 産業教育連絡協議会にて、地元企業等へリーフレット配布および説明